

# 2015年3月期決算説明会

## 2015. 5.28

NIPPON YAKIN

**日本冶金工業株式会社**

---

## 本日のアジェンダ

### 1. 2015年3月期決算サマリー

執行役員経理部長 小林 伸互

### 2. 足元の状況と競争力強化の取り組み

代表取締役社長 木村 始

＜参考＞主要データ(連結ベース)

## 2015年3月期決算のポイント

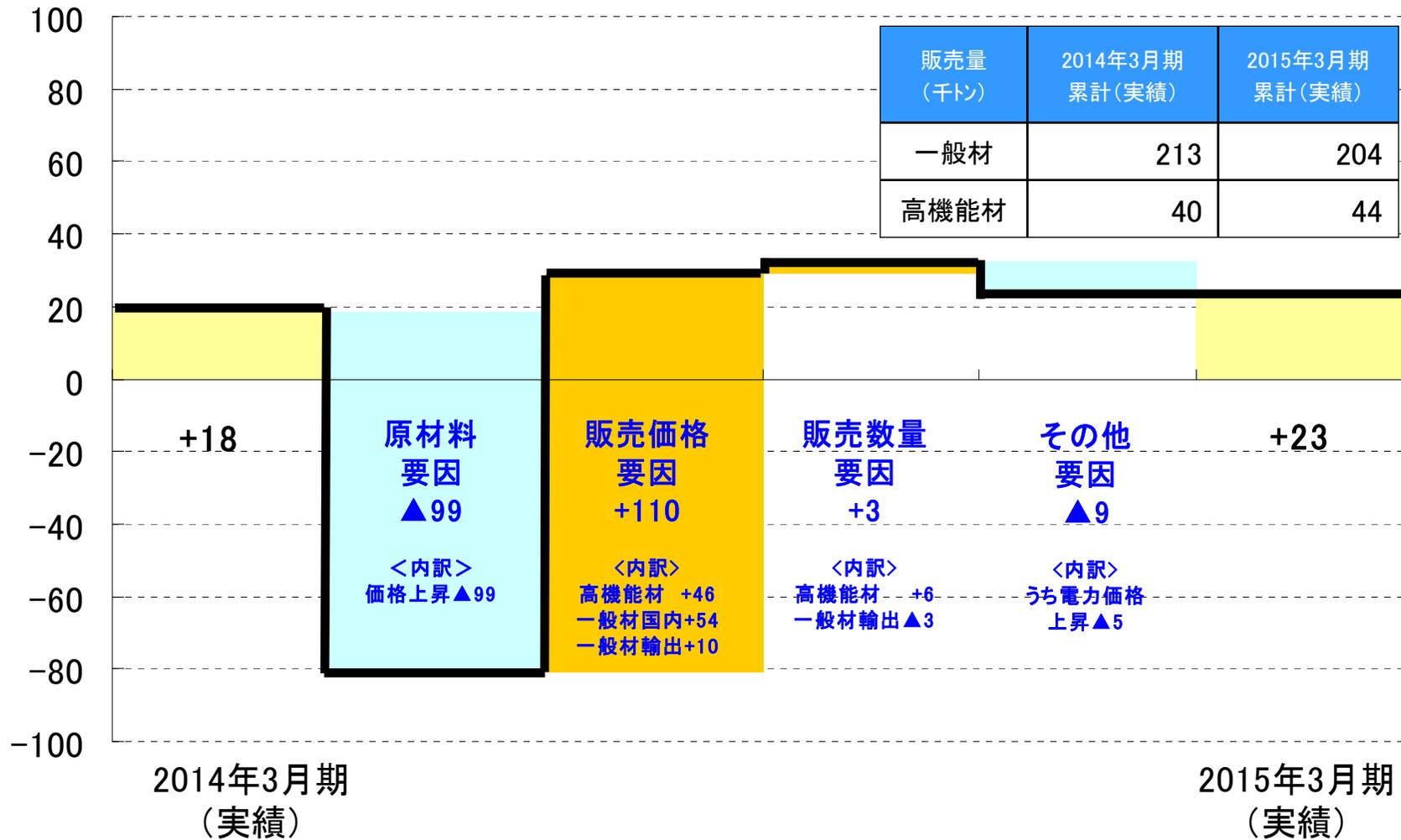
- ① 前半のニッケル価格急騰と後半の円安進行により原料価格及びエネルギー価格が高止まりしたが、一般材の販売価格適正化を一定程度実現し前年度比増収増益を達成
- ② 高機能材部門も前年度比約1割販売増を達成、収益確保に寄与
- ③ 2016年3月期は需給回復傾向にあるものの、原料・エネルギーコストの動向、足元の原油価格下落が石油・ガス関連の設備投資へ与える影響など、取り巻く環境は予断を許さない
- ④ 引き続き適正な販売価格維持に努めるとともに「中期経営計画2014」に基づき、高機能材事業強化等の諸施策を着実に実行

## 損益計算書 連結 概要

	2014年3月期 通期実績 (億円)	2015年3月期 通期実績 (億円)	前年比 (億円)	前年比 (%)
売上高	1,199	1,295	96	8.0
営業利益	18	23	5	27.0
経常利益	6	13	7	113.3
当期純利益	5	21	16	335.7
高機能材部門 売上高比率(%)	33.4	36.7		

(ご参考)ニッケルLME期中平均価格: 2014年3月期6.51US\$/Lb、2015年3月期7.62US\$/Lb。

# 営業利益変動の要因分析(前年同期比較:億円)



## 貸借対照表 連結 概要

	2014年3月末 (億円)	2015年3月末 (億円)	前期比増減 (億円)	2014年3月末 構成比(%)	2015年3月末 構成比(%)
現金・預金	66	50	▲ 16	4.8	3.6
売掛債権	207	210	3	15.0	14.9
たな卸資産	299	327	28	21.8	23.2
その他流動資産	5	5	0	0.3	0.4
固定資産	797	818	21	58.0	58.0
<b>【資産合計】</b>	<b>1,374</b>	<b>1,410</b>	<b>36</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>
借入金及び社債	618	635	17	45.0	45.1
その他負債	445	432	▲ 13	32.4	30.6
<b>【負債計】</b>	<b>1,064</b>	<b>1,068</b>	<b>4</b>	<b>77.4</b>	<b>75.7</b>
<b>【純資産計】</b>	<b>310</b>	<b>343</b>	<b>33</b>	<b>22.6</b>	<b>24.3</b>
自己資本比率(%)	22.5	24.3			

# キャッシュフロー計算書 連結 概要

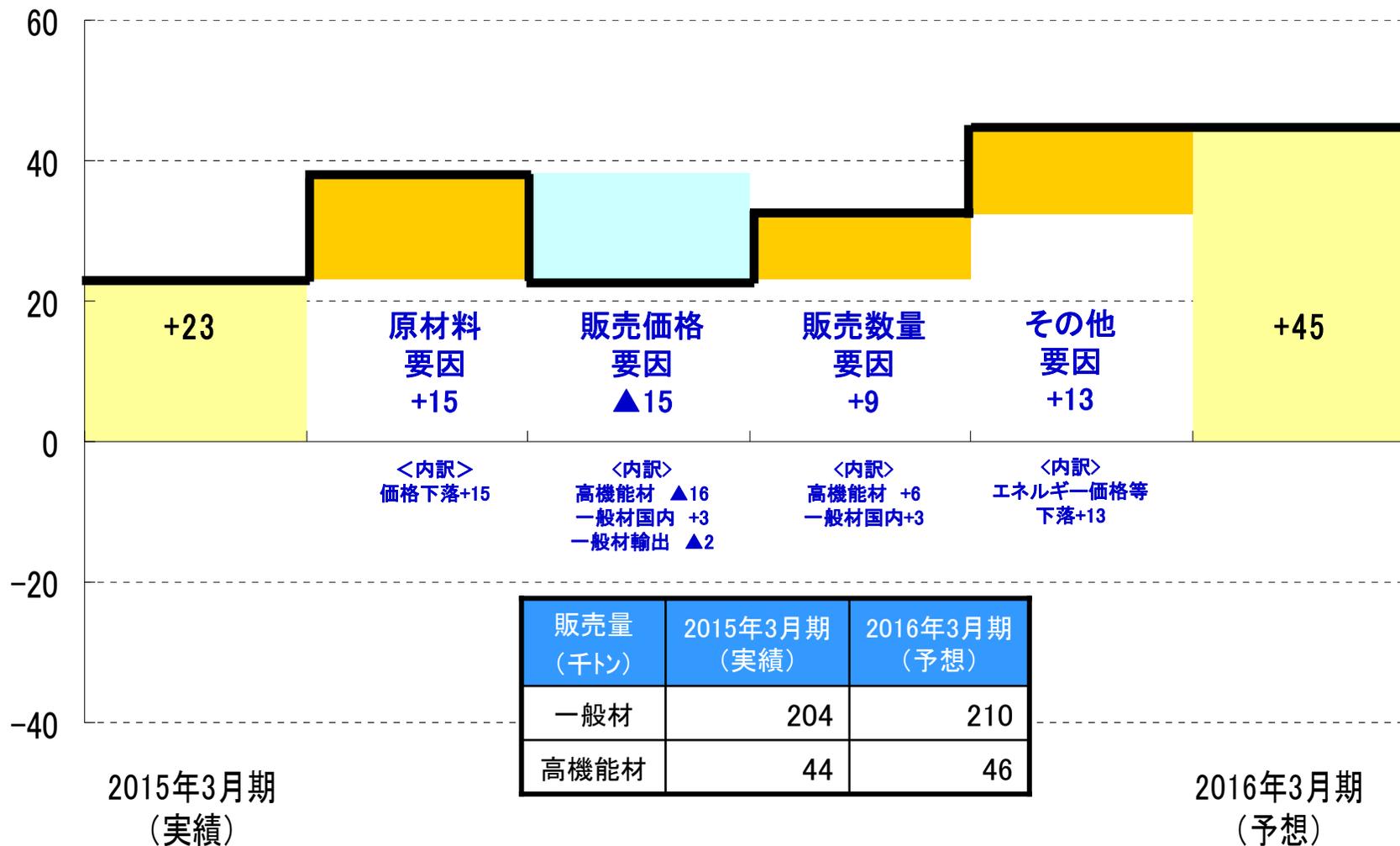
	2014年3月期 累計実績(億円)	2014年3月期 累計実績(億円) (期末休日影響除 く)	2015年3月期 累計実績(億円)	前年比 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	7	(36)	12	5
税金等調整当期純利益	7	(7)	13	6
減価償却費	38	(38)	35	▲ 3
売上債権の増加額(△)又は減少額	4	(9)	▲ 3	▲ 7
たな卸資産の増加額(△)又は減少額	▲ 29	(▲29)	▲ 28	1
仕入債務の増加額又は減少額(△)	▲ 7	(17)	▲ 10	▲ 3
法人税等の支払額	▲ 2	(▲2)	▲ 2	0
その他	▲ 4	(▲4)	7	10
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 16	(▲15)	▲ 40	▲ 23
有形・無形固定資産の取得による支出	▲ 34	(▲33)	▲ 43	▲ 9
その他	17	(17)	3	▲ 15
フリー・キャッシュフロー	▲ 10	(21)	▲ 28	▲ 19
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 25	(▲19)	11	36
借入金及び社債の純減少額(△)	▲ 19	(▲13)	15	34
その他	▲ 7	(▲7)	▲ 4	2
現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	▲ 35	(1)	▲ 16	19

## 2016年3月期連結業績予想

	2015年3月期	2016年3月期		
	通期実績 (億円)	今回予想 (億円)	前年比 (億円)	前年比 (%)
売上高	1,295	1,320	25	1.9
営業利益	23	45	22	94.1
経常利益	13	25	12	91.3
当期純利益	21	21	0	0.4

(前提)2016年3月期ニッケルLME期中平均価格: 6.0US\$/Lb、為替レート 120円。

# 営業利益変動の要因分析(前期比較:億円)



## 本日のアジェンダ

### 1. 2015年3月期決算サマリー

執行役員経理部長 小林 伸互

### 2. 足元の状況と競争力強化の取り組み

代表取締役社長 木村 始

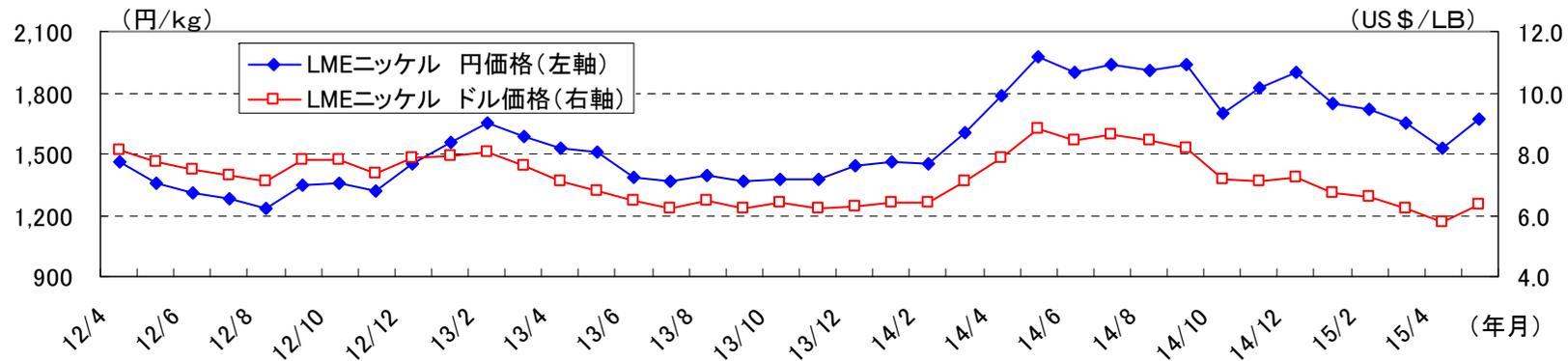
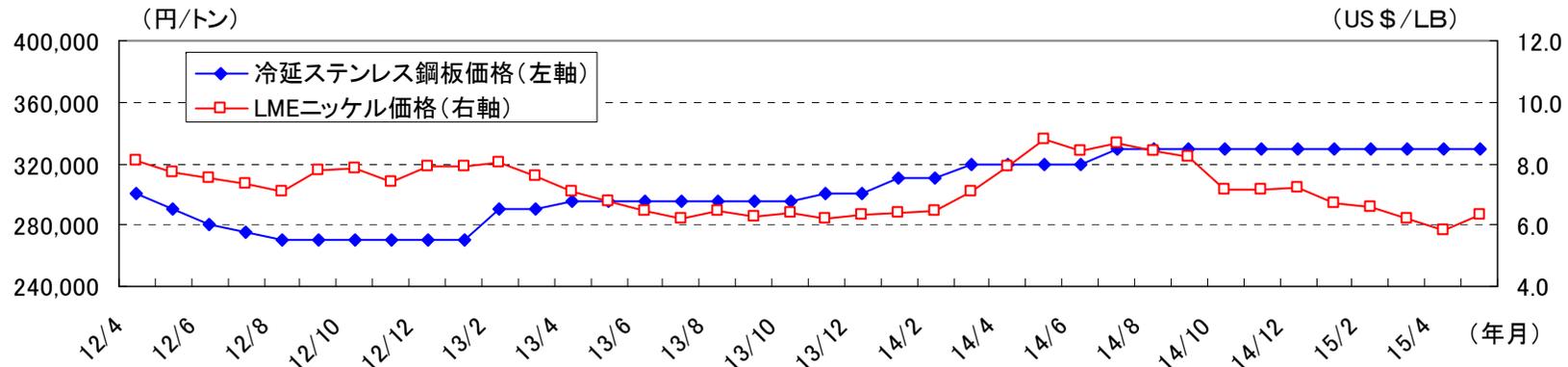
＜参考＞主要データ(連結ベース)

# ステンレス一般材の状況

	前年度下期	今年度方針
国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 堅調だった自動車・建築関連が調整局面になりマーケットの荷動きは低調</li> <li>➤ オリンピック関連など大型案件は具体化待ち、造船や水門関連は活況</li> <li>➤ ニッケル価格下落の影響で商社・問屋では在庫積み増し・新規発注を控える動きが顕著</li> <li>➤ メーカー各社は需要にあわせた生産を継続し市況は安定</li> <li>➤ 円安環境で輸入材は若干減少気味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 調整局面はつづいており、原料価格動向を見据えた動きが継続すると予想</li> <li>➤ 一方、円安の影響もあり工作機械受注は好調、関連する設備投資に期待</li> <li>➤ 大型案件の具体化に備え情報収集は継続</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ニッケル価格下落と海外メーカーの過当競争によりステンレス鋼ドル価格は低迷継続</li> <li>➤ 採算を重視した営業活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 前年度下期のような厳しい市場環境は継続すると予想</li> <li>➤ 為替・原料価格動向を注視し採算重視の営業活動を継続</li> </ul>

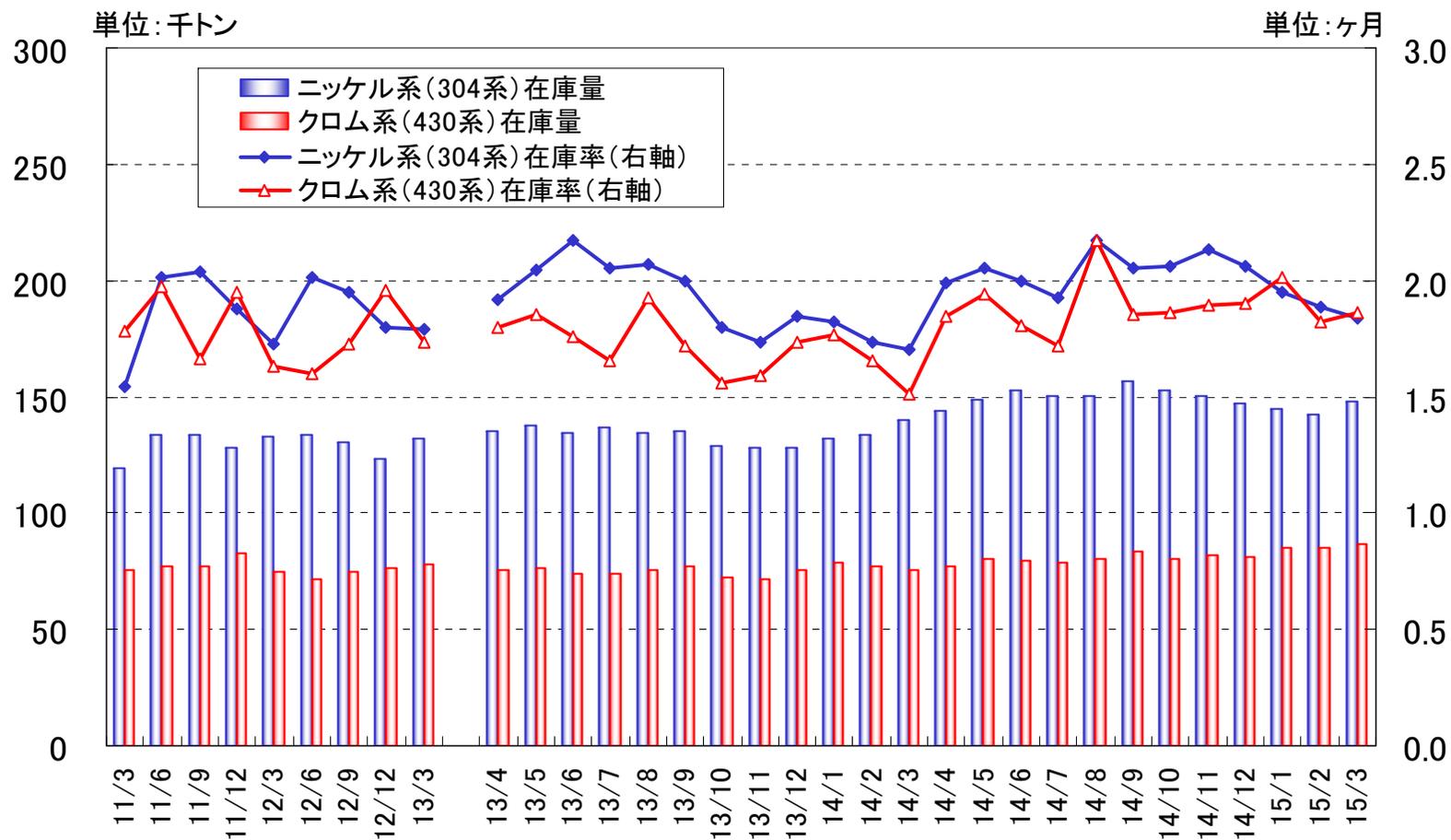
# ニッケル・ステンレス価格の推移(月次)

- インドネシアのNi鉱石輸出規制を背景として2014年4月に急騰、一時\$9/lb台へ
- 2014年9月以降下落継続し、現在は\$6/lb前後で推移



(注1) 冷延ステンレス鋼板: 東京SUS304種18-8、2.0ミリ。  
 (注2) 2015年5月価格は冷延ステンレス鋼板は直近、ニッケル価格は5/24までの平均。  
 (出所) 鉄鋼新聞。

# 汎用ステンレス(ニッケル系・クロム系)在庫の推移

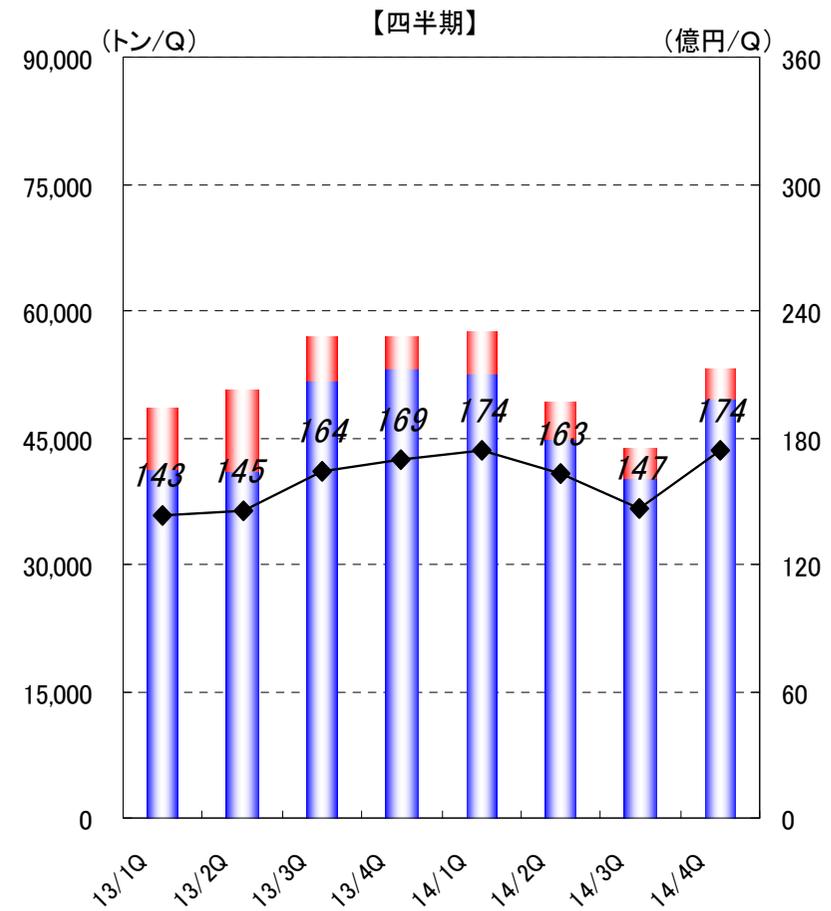
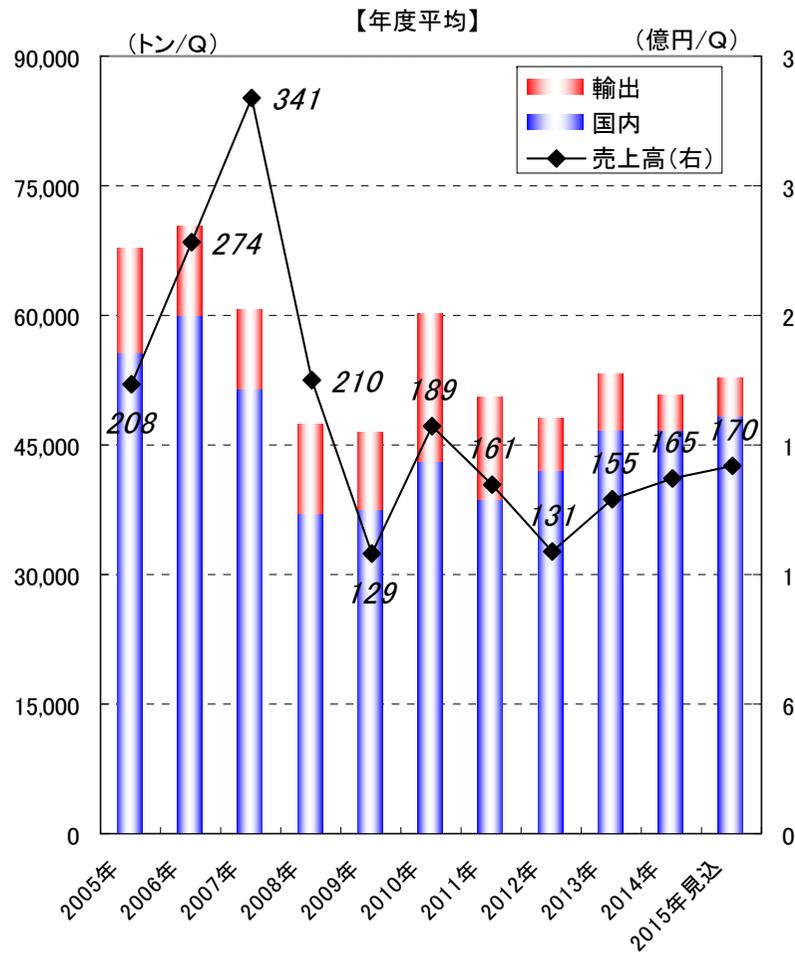


(出所)全国ステンレス流通協会連合会  
(JSCA統計+ANS会統計+商社・量販店統計)

(年/月)

# 販売量及び売上高《ステンレス一般材》

- 国内向け、輸出向けとも販売価格適正化に注力
- 数量、売上高とも2014年度第3四半期に底打ち

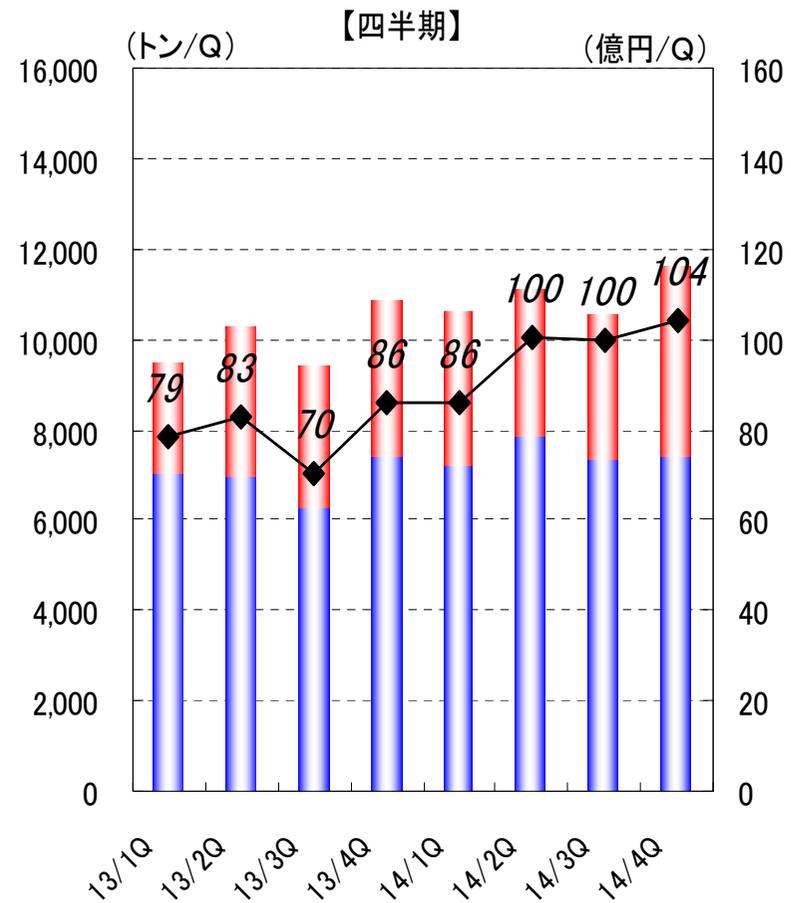
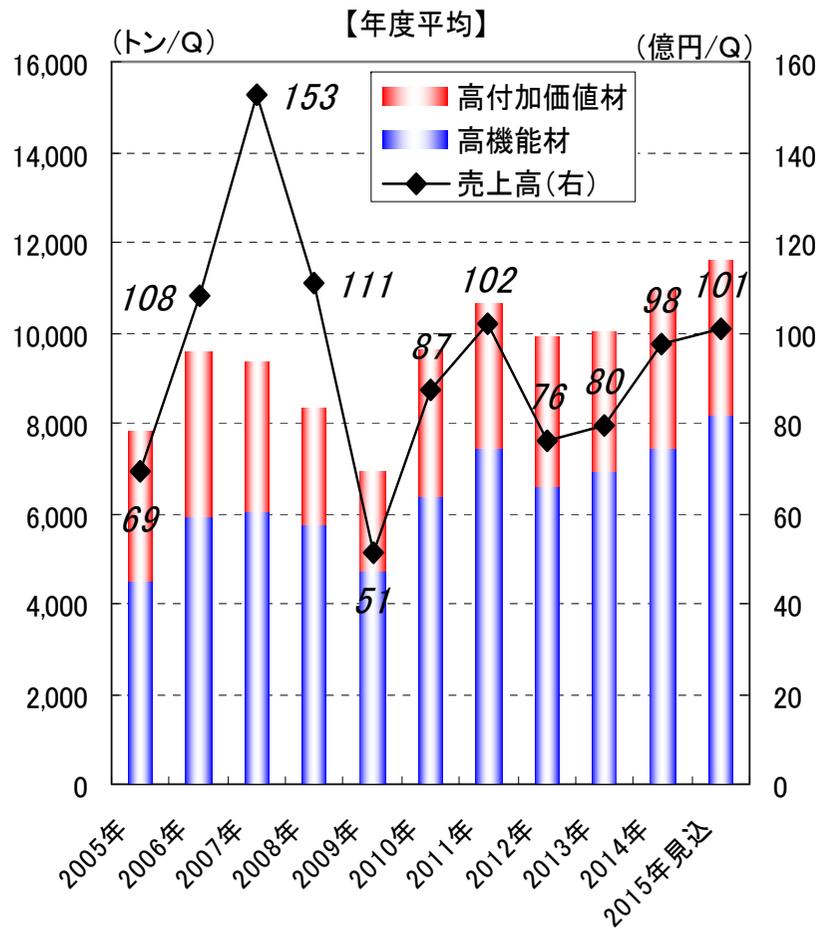


# 高機能材部門の状況

		前年度下期	今年度方針																
国内		<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 原油下落や中国の減速、韓国の景気低迷の影響でアジア向け間接輸出案件が伸び悩み</li> <li>➢ 航空機金型関連も需要の端境期となり低調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 既存需要を維持しつつ顧客と連携した攻めの営業展開を拡充</li> <li>➢ 国内顧客にも間接的に海外案件引合が入る場合もあり、海外拠点との連携強化も推進</li> <li>➢ 東京オリンピック関連等インフラ需要の捕捉も注力</li> </ul>																
	海外	<table border="1"> <tr> <td>中国</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 経済成長率低下及び政府系企業の綱紀粛正の影響で需要は鈍化</li> <li>➢ 景気回復には時間要する状況</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 環境対策は喫緊の課題</li> <li>➢ 前年度も好調だった石炭火力発電所排煙脱硫装置向けとともに今後拡大が予想される天然ガス関連需要の捕捉に注力</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>韓国</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ウォン高による需要低迷が継続</li> <li>➢ 大手重工メーカーの業績不振で関連加工メーカーも振るわず</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国内公共事業案件やすでに進捗中の案件にターゲットを絞り、需要地に近い立地を生かした短納期受注を展開</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 好景気が継続</li> <li>➢ 他の地域の減速、不振を米国景気が下支え</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 需要が安定している熱膨張制御材、高強度材、高Ni耐熱合金の拡販を目指す</li> <li>➢ 航空機金型関連需要の取込み拡大</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ユーロ安の影響で欧州企業の競争力は回復基調</li> <li>➢ 一方、域内経済は依然停滞気味</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ NORSOK認証を活用した石油・ガス分野への拡販</li> <li>➢ 精密スリッターを活用した細径管用途への営業強化</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>中南米</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 原油安の影響が徐々に浸透、各種石油・ガスプロジェクトの延期もあり</li> <li>➢ 米国需要に支えられ耐久消費財関連は好調</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 比較的好調な環境・化学・航空機関連に注力</li> <li>➢ 米国需要に起因する耐久消費財向け需要を確実に捕捉</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>東南アジア</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 徐々に高機能材需要が出てきているが市場はまだ小さい</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ASEANーインドー中東を意識した商流拡大を営業展開</li> <li>➢ 将来の市場拡大を見据え、再圧延用、ファブ向け、オフショア向けで販売実績を積む</li> </ul> </td> </tr> </table>	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 経済成長率低下及び政府系企業の綱紀粛正の影響で需要は鈍化</li> <li>➢ 景気回復には時間要する状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 環境対策は喫緊の課題</li> <li>➢ 前年度も好調だった石炭火力発電所排煙脱硫装置向けとともに今後拡大が予想される天然ガス関連需要の捕捉に注力</li> </ul>	韓国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ウォン高による需要低迷が継続</li> <li>➢ 大手重工メーカーの業績不振で関連加工メーカーも振るわず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国内公共事業案件やすでに進捗中の案件にターゲットを絞り、需要地に近い立地を生かした短納期受注を展開</li> </ul>	北米	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 好景気が継続</li> <li>➢ 他の地域の減速、不振を米国景気が下支え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 需要が安定している熱膨張制御材、高強度材、高Ni耐熱合金の拡販を目指す</li> <li>➢ 航空機金型関連需要の取込み拡大</li> </ul>	欧州	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ユーロ安の影響で欧州企業の競争力は回復基調</li> <li>➢ 一方、域内経済は依然停滞気味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ NORSOK認証を活用した石油・ガス分野への拡販</li> <li>➢ 精密スリッターを活用した細径管用途への営業強化</li> </ul>	中南米	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 原油安の影響が徐々に浸透、各種石油・ガスプロジェクトの延期もあり</li> <li>➢ 米国需要に支えられ耐久消費財関連は好調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 比較的好調な環境・化学・航空機関連に注力</li> <li>➢ 米国需要に起因する耐久消費財向け需要を確実に捕捉</li> </ul>	東南アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 徐々に高機能材需要が出てきているが市場はまだ小さい</li> </ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 経済成長率低下及び政府系企業の綱紀粛正の影響で需要は鈍化</li> <li>➢ 景気回復には時間要する状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 環境対策は喫緊の課題</li> <li>➢ 前年度も好調だった石炭火力発電所排煙脱硫装置向けとともに今後拡大が予想される天然ガス関連需要の捕捉に注力</li> </ul>																	
韓国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ウォン高による需要低迷が継続</li> <li>➢ 大手重工メーカーの業績不振で関連加工メーカーも振るわず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国内公共事業案件やすでに進捗中の案件にターゲットを絞り、需要地に近い立地を生かした短納期受注を展開</li> </ul>																	
北米	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 好景気が継続</li> <li>➢ 他の地域の減速、不振を米国景気が下支え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 需要が安定している熱膨張制御材、高強度材、高Ni耐熱合金の拡販を目指す</li> <li>➢ 航空機金型関連需要の取込み拡大</li> </ul>																	
欧州	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ユーロ安の影響で欧州企業の競争力は回復基調</li> <li>➢ 一方、域内経済は依然停滞気味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ NORSOK認証を活用した石油・ガス分野への拡販</li> <li>➢ 精密スリッターを活用した細径管用途への営業強化</li> </ul>																	
中南米	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 原油安の影響が徐々に浸透、各種石油・ガスプロジェクトの延期もあり</li> <li>➢ 米国需要に支えられ耐久消費財関連は好調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 比較的好調な環境・化学・航空機関連に注力</li> <li>➢ 米国需要に起因する耐久消費財向け需要を確実に捕捉</li> </ul>																	
東南アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 徐々に高機能材需要が出てきているが市場はまだ小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ASEANーインドー中東を意識した商流拡大を営業展開</li> <li>➢ 将来の市場拡大を見据え、再圧延用、ファブ向け、オフショア向けで販売実績を積む</li> </ul>																	

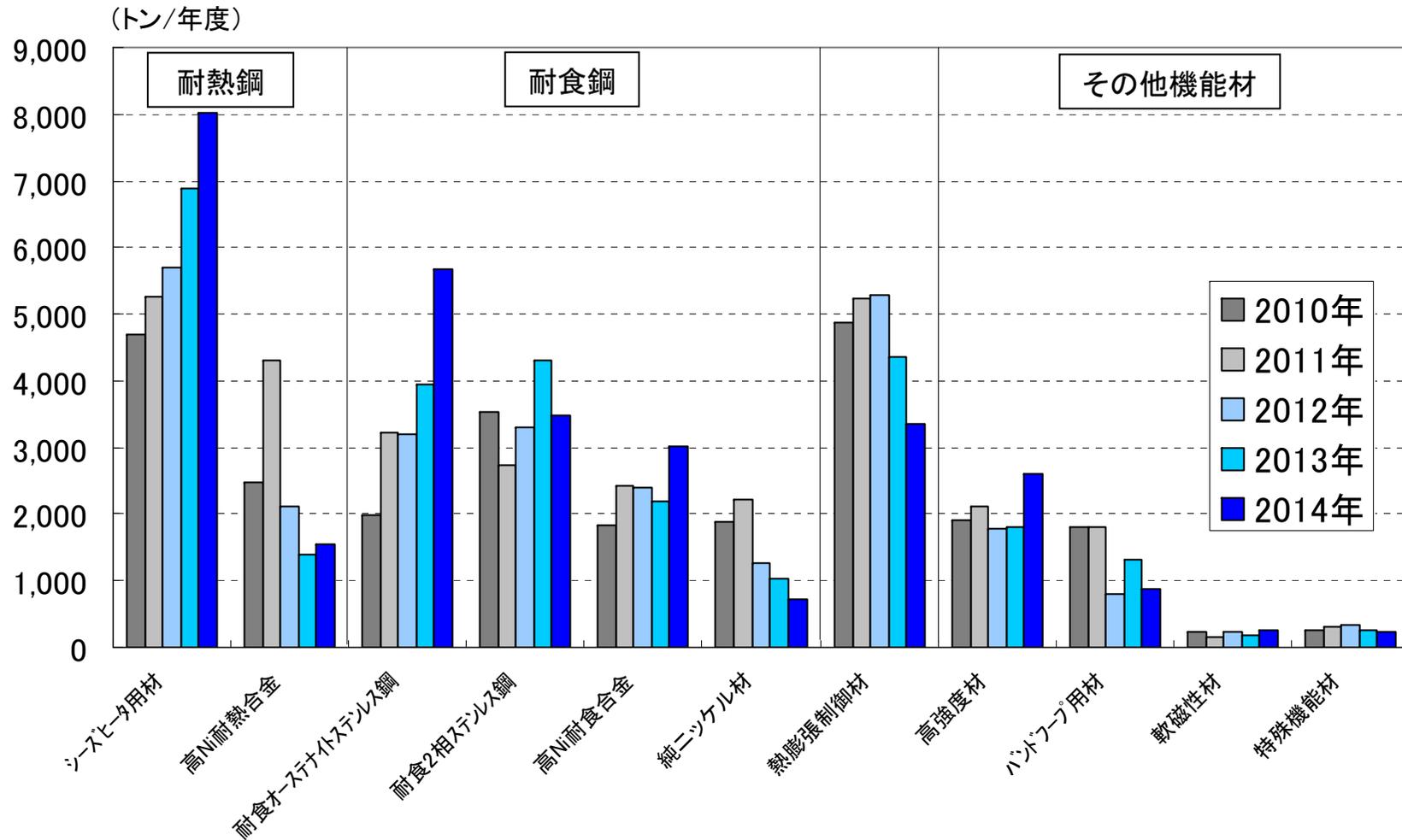
## 販売量及び売上高《高機能材部門合計》

- 販売量は発電、化学分野を中心に2013年度比約1割の増加
- 増販施策の取り組みが実り、過去10年間で最高の販売量を達成



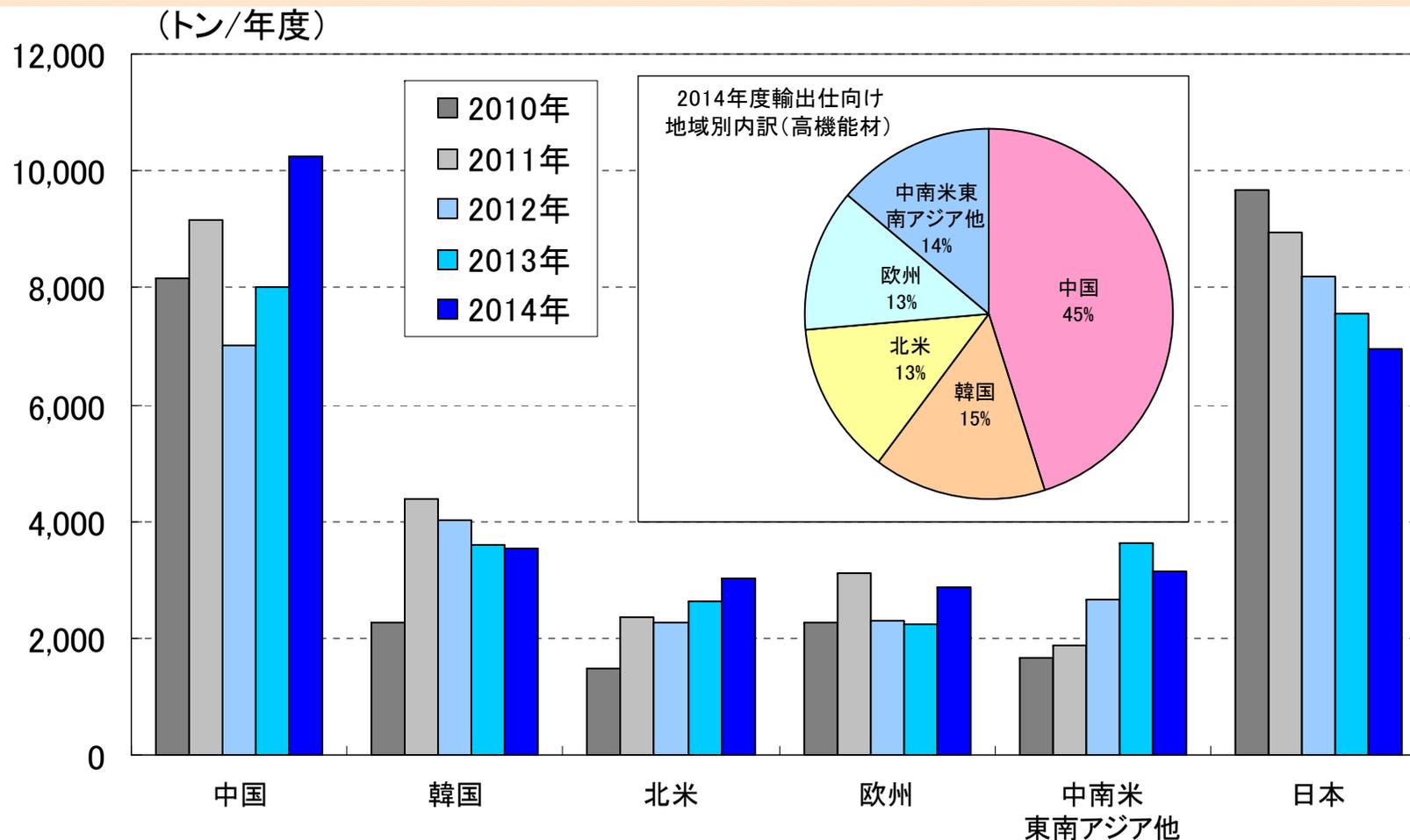
# 高機能材の分類・用途別分類の推移(販売量)

➤ シーズヒーター用材、耐食オーステナイトステンレス鋼が増加



## 高機能材の輸出地別推移(販売量)

- 中国向けはシーズヒーター用材や発電(環境対策用途)向けが好調
- 北米向けは、オイル&ガス採掘用途向け引き合いは低調ながら前年度比微増



# 高機能材競争力強化の取組み①

## ➤ 高機能材用精密スリッターラインを新設(2015年3月稼動開始)

### 【設備導入の背景と効果】

- ①高度化する顧客の品質要求に対応するため設備新設
- ②加工精度アップと短納期化を実現、グローバル市場での販売力を強化

### 【精密スリッターラインの特徴】

- ①製品幅12mmまでの狭幅材が供給可能
- ②優れたスリット破面性状
- ③自動梱包設備を付帯、生産性も向上

### 【設備仕様】

素材幅 : 600mm

素材厚 : 0.3~2.0mm

製品幅 : 12mm~50mm



## 高機能材競争力強化の取組み②

- ▶ 冷延焼鈍酸洗ライン(No. 5APライン)を改造、効率的生産体制を確立(2015年4月完了)

### 【設備改造の背景】

- ①戦略商品である高機能材を拡販するため「汎用ルート化」を進めており、前中計期間では上工程中心に設備投資を実施(真空アルゴン酸素精錬炉、連続鑄造機など)
- ②今中計では鋼板の表面品質向上を実現すべく下工程中心に設備投資を推進中(焼鈍酸洗ライン、精密スリッター、各種検査装置など)

### 【効果】

- ①高機能材から一般材まで効率的な処理が可能に
- ②従来の3ラインをNo.5APラインを含む2ラインに集約、生産・エネルギー効率の向上と納期短縮を実現



# 高機能材拡販の取組み

➤ NORSEK(ノルウェー標準海洋規格)認定を取得(2015年2月)、高機能材拡販に弾み

## 【背景と効果】

- ①耐食オーステナイトステンレス鋼など  
一部の高機能材で、「NORSOK」を取得
- ②石油・ガスのオフショアプラント向け等で  
営業力を強化

## 【NORSOKとは・・・】

石油掘削・生産に関わる作業や設備などの安全性を担保するため1990年代半ばに導入された規格で、各種の工法や材料等について要求事項を定めたもの。現在、欧州の石油・ガス開発における標準的な規格の一つ。この規格認定がないと材料受注が不可となるケースもある。

**NORSOK**  
 DUPLEX Stainless Steel |  
 Super Austenitic Stainless Steel

Nippon Yakin Kogyo Received NORSOK Certification

NORSOK M-650 ED.4  
 NORSOK M-630 ED.6  
 MDS D45 (S31803, S32205) REV.5  
 MDS D55 (S32750) REV.5  
 MDS R15 (S31254) REV.5

A leading manufacturer of high performance alloy flat products  
**NIPPON YAKIN KOGYO CO., LTD.**  
<http://www.nyk.co.jp/en/>

Tokyo Office E-mail: inquiry@nyk.co.jp  
 London Office E-mail: nyklondon@yakin.co.uk  
 Chicago Office E-mail: nya@yakin-america.com  
 Shanghai Office E-mail: info@nyk-sh.cn  
 Singapore Office E-mail: yakin@yakin-asia.com

	名称			化学成分 (%)		
	UNS Number	JIS	NAS	ニッケル	クロム	モリブデン
耐食2相ステンレス鋼	S31803/32205	SUS 329J3L	NAS 329J3L	4.5~6.5	21.0~24.0	2.5~3.5
耐食2相ステンレス鋼	S32750	-	NAS 74N	6.0~8.0	24.0~26.0	3.0~5.0
耐食オーステナイト ステンレス鋼	S31254	SUS 312L	NAS 185N	17.5~18.5	19.5~20.5	6.0~6.5

# ISSF(国際ステンレスフォーラム)の最優秀技術賞を受賞

➤ 「ステンスライニングジャケットの羽田空港D滑走路橋脚への適用」で受賞  
(2015年5月受賞)

- ①ステンレス鋼の新規用途への適用で最も優れた事例を表彰する最優秀技術賞を耐食オーステナイトステンレス「NAS 185N」「NAS 354N」の橋脚への採用が受賞
- ②海水に対する優れた耐食性を備え、長寿命化・メンテナンスフリー化を実現



2015/5/22  
日刊鉄鋼  
新聞掲載



	名称			化学成分 (%)		
	NAS	UNS Number	JIS	ニッケル	クロム	モリブデン
耐食オーステナイト ステンレス鋼	NAS 185N	S31254	SUS 312L	17.5~18.5	19.5~20.5	6.0~6.5
耐食オーステナイト ステンレス鋼	NAS 354N	N08354	-	34.0~36.0	22.0~24.0	7.0~8.0

# 製品紹介

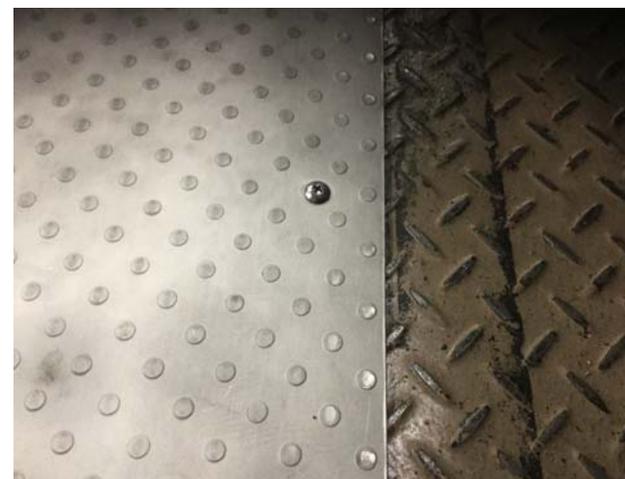
## ▶ 「床用ステンレス鋼板『ポルカプレート』」採用例のご紹介

- ①ポルカプレートは表面に水玉模様の凸部を配した床用ステンレス鋼板で当社独自の製品(特許も保有)
- ②ドイツ労働安全協会が実施する耐すべり評価試験においてチェッカープレートより優れる最高クラスの評価を獲得

①施工例



②近接比較  
左:ポルカプレート  
右:チェッカープレート



	名称		化学成分(%)		備考
	NAS	JIS	ニッケル	クロム	
床用ステンレス鋼板	NAS 304 (ポルカプレート)	SUS 304	8.0	18.0	特許 第2992021号

## 配当について

### ▶ 2015年3月期の配当

誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきます。

### ▶ 2016年3月期の配当

経営環境に不透明感があることから現時点では未定としております。今後の業績を見極め、開示可能になった時点で速やかにお知らせ致します。

## 本日のアジェンダ

### 1. 2015年3月期決算サマリー

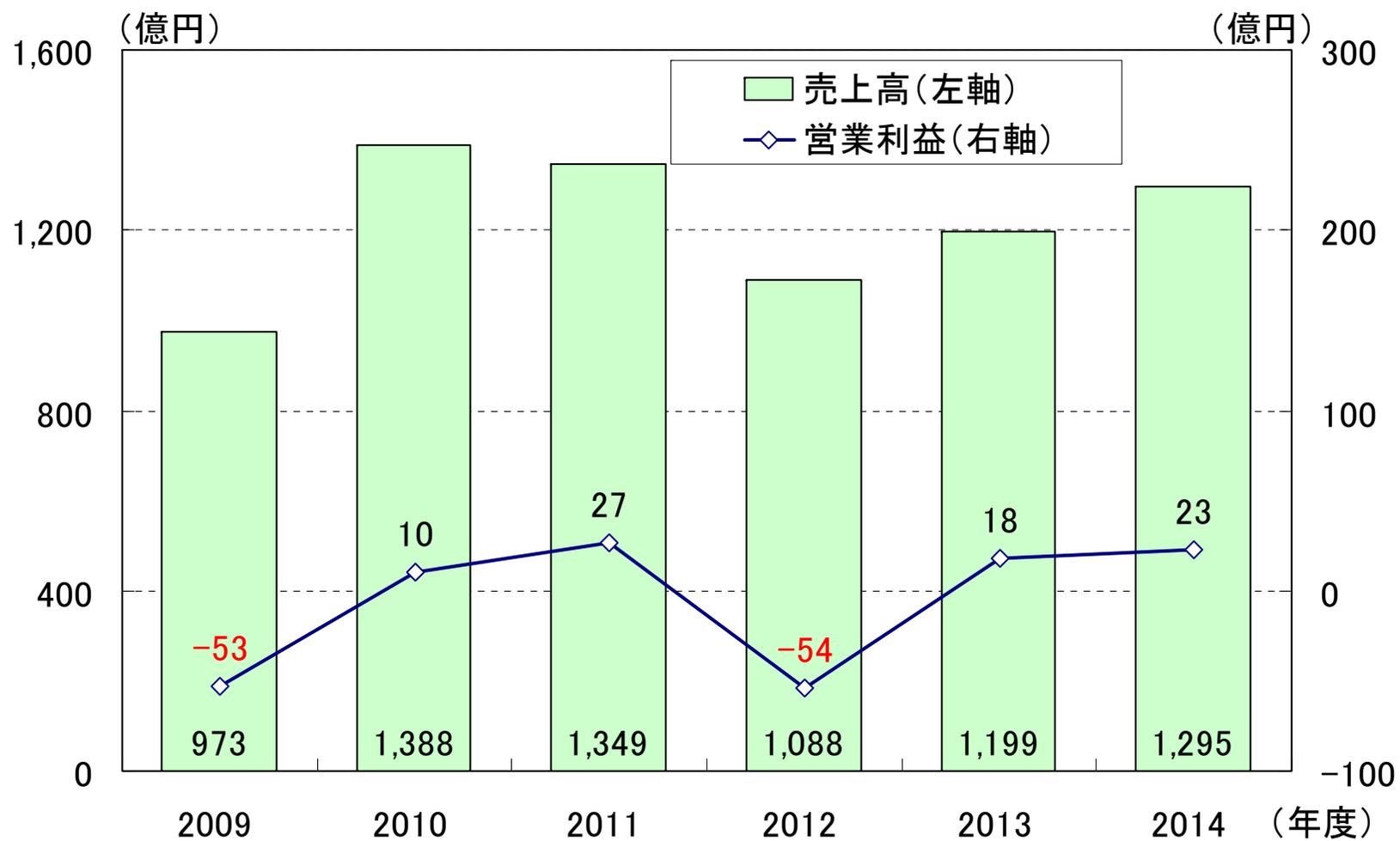
執行役員経理部長 小林 伸互

### 2. 足元の状況と競争力強化の取り組み

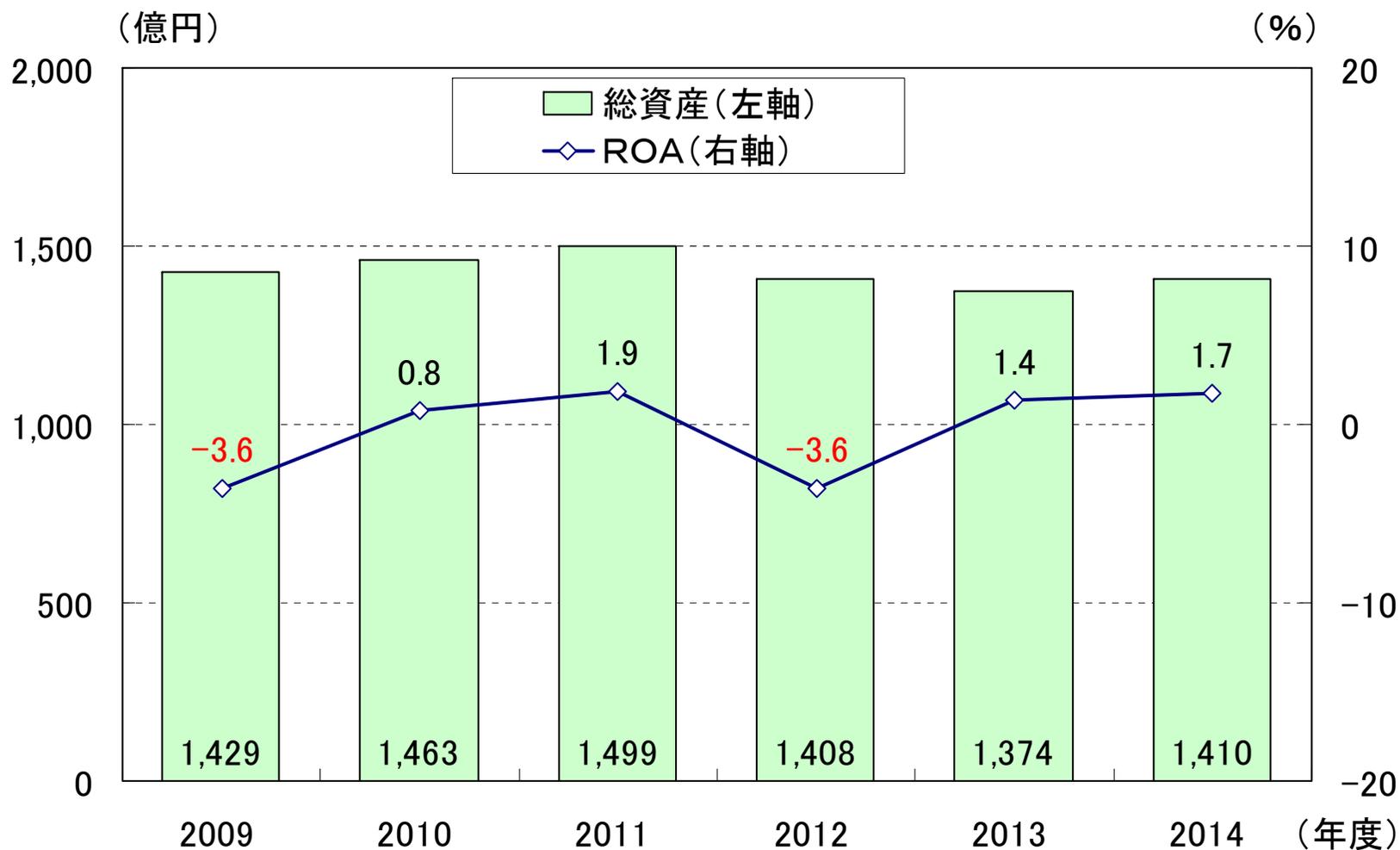
代表取締役社長 木村 始

＜参考＞主要データ(連結ベース)

# 売上高・営業利益

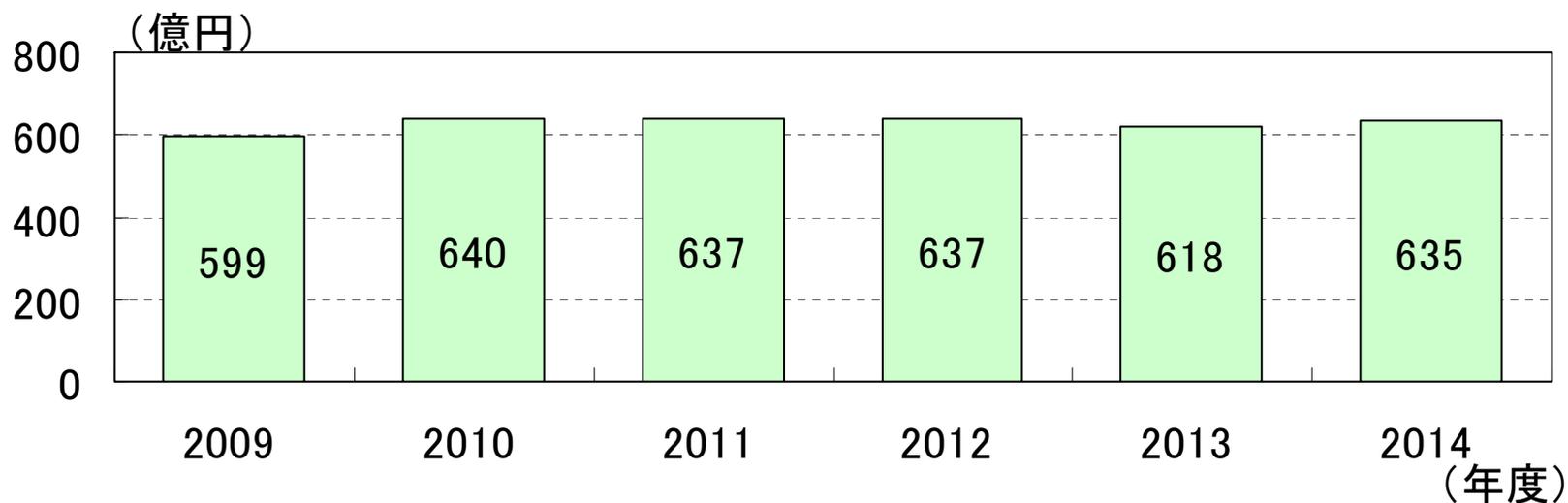
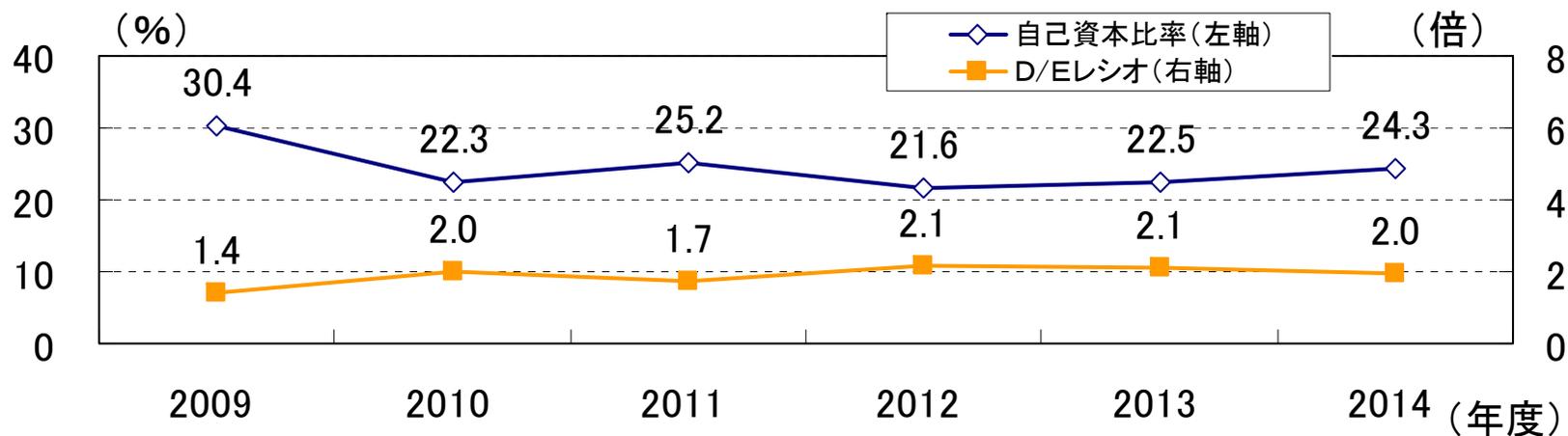


# 総資産額・ROA

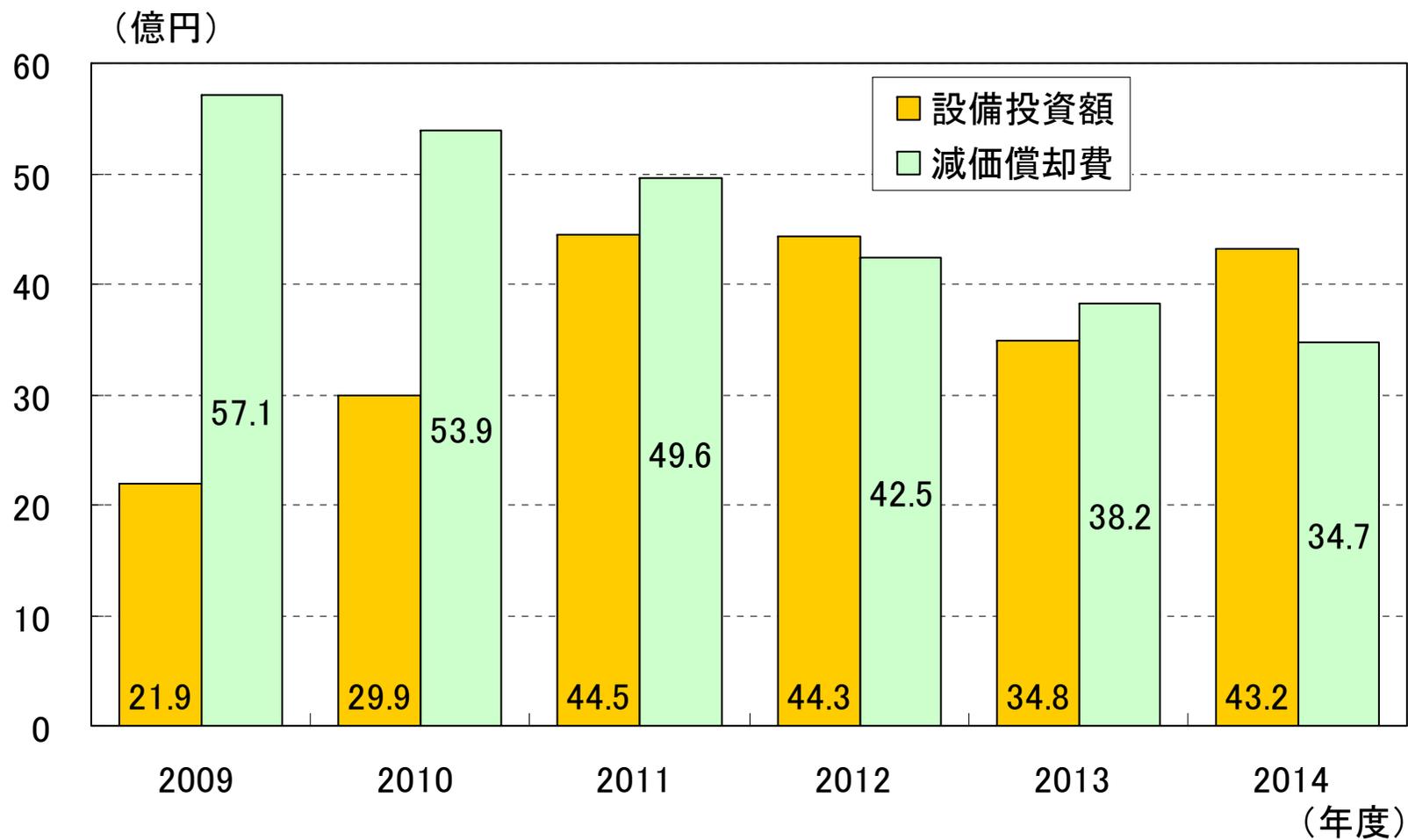


(注)ROAは(営業利益+受取利息・受取配当金)／期初・期末平均総資産

## 有利子負債残高と自己資本比率、D/Eレシオ



## 設備投資(連結ベース)



歴史あるステンレスメーカーから新しいステンレス特殊鋼メーカーへ  
～そして競争力No.1の高機能材メーカーへ～

# 日本冶金工業

本資料のいかなる内容も、弊社株式の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載された計画や見通し、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切の責任を負いかねますので、ご承知下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

日本冶金工業株式会社 IR事務局

Tel. 03-3273-3613 /

E-MAIL. [irjimu@nyk.co.jp](mailto:irjimu@nyk.co.jp)